令和5(2023)年度　事 業 計 画

1 基本方針

公益財団法人日本ボーイスカウト栃木県連盟は、公益財団法人としての県民の付託に応えるとともに、スカウト運動の価値をより高め、県内における青少年教育の中核となって青少年を育成し、より良き社会人を輩出するためにその使命を果たします。

そして、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟第３期中長期計画（2023 年度～2032 年度）「新たな 100 年に向けての挑戦－地域と共に歩み、社会課題の解決に貢献するスカウティングを目指して－」及び、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟の 2023（令和 5）年度最重点施策「社会に貢献できるスカウトを育てるための仕組みを確立する。」と連携し、県連盟中期経営計画「スカウトとちぎ Go Go プラン」の基本理念である「コアコンピタンス（主要能力）を発揮して、『スカウトとちぎ』を推進しよう！」の実現に向けて、今年度を初年度とした３年間を見通した事業を推進します。

なお、現在、中期経営計画タスクチームを中心に「スカウトとちぎ Go Go プラン第２期計画」の策定作業を進めており、その推進構想の反映に向けて、事業計画の点検・評価に努めてまいります。

〈参考〉　（公財）日本連盟　2023（令和 5）年度の重点展開事業

①　「ワクワク自然体験あそび」の全国展開
- 地域の行政機関、教育機関をはじめとした、地域社会でのボーイスカウト認知度を高めると共に、エントリー部門のスカウト加入を推進します。

②　25WSJ 派遣
- ボーイスカウト活動の魅力の一つである国際交流体験の機会とし、参加者のこれからのスカウト活動充実と、スカウト活動の魅力を社会と加盟員（保護者も含めた）に発信する。

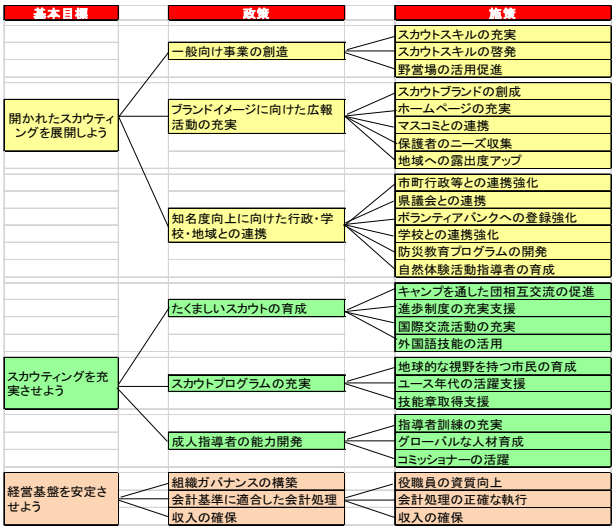
③　地域社会、国際社会に貢献するローバースカウトの育成
- スカウト運動で育った、すばらしいスカウトを、社会並びにスカウトの保護者に示し、ボーイスカウト運動の人財育成面からの価値を社会、スカウト保護者、スカウトにアピールする。

④　加盟員、社会への円滑な情報発信・伝達方法の確立
- スカウト運動の活性化の為、加盟員にとって必要な情報を、確実に、早く伝達できる仕組みを構築する。社会に対し、ボーイスカウト運動の価値を効率的に発信し、運動への協力者を増やし社会の認知度を高める。

⑤　日本連盟のガバナンス強化
- 本連盟の意思決定方法や、現在実施している事業の、目的と進捗状況の見える化と、情報開示を推進するなどガバナンスを強化すると共に、青少年教育運動に携わる日本連盟のコンプライアンスをいっそう強化します。

2 基本目標の実現に向けた施策体系

事業の予算化に当っては、事務事業マネジメントシートを作成して事業実績に基づいた評価を実施している。この作業を通して、目標を再設定するもの、やり方の改善による成果向上を図るもの、事業の統廃合や連携を行うもの、廃止・休止を行うもの等の検討を行い、２～３年後の在り方を精査（ローリング方式）しています。



（公財）ボーイスカウト栃木県連盟				事務事業マネジメントシート	作成日	令和	4	年	9	月	30	日
評価対象年度	令和	4	年度		担当委員会名		指導者養成 委員会					

事務事業名			コミッショナーベーシックコース（関東ブロック）				
施策体系	基本目標	2	スカウティングを充実させよう	事業区分	事業開始年度	平成	27 年度
	政　策	3	成人指導者の能力開発		新規・継続	継続	
	施　策	1	指導者訓練の充実		実施方法	関東ブロック	
	基本事業	2	定型訓練開催事業		リーディングプロジェクト	該当なし	

1　事務事業の現状把握　［Do］

（1）事務事業の手段・目的・結果・指標

手段

① 手　段（この事務事業の主な活動内容）

事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）

日本連盟の定める実施要項に基づき、本県連盟が当番県連となりコースを開設する。コミッショナーベーシックコースは、関東８県合同で、２年ずつ持ち回りで行う。講師受入れに際し、交通費を県内８千円、県外１万円を支出する。

令和　3　年度実績　（実施した主な活動内容）

活動指標	単位	R3 年度（実績）	R4 年度（予定）	R5 年度（見込）	R6 年度（見込）	R7 年度（見込）
実施回数	回			1	1	

目的

② 対　象（この事務事業は、何を対象としているか？）

加盟員で基礎訓練過程を修了した者

対象指標	単位	R3 年度（実績）	R4 年度（予定）	R5 年度（見込）	R6 年度（見込）	R7 年度（見込）
参加人数	人			20	20	

③ 意　図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいか？）

コミッショナーとしての責務を果たすことができるように、コミッショナーとしての資質・向上を図る。

成果指標	単位	R3 年度（実績）	R4 年度（予定）	R5 年度（見込）	R6 年度（見込）	R7 年度（見込）
奉仕実績提出率	%			100	100	

結果

④ 結　果（この事務事業は、どのような結果に結び付けるか？）

受講者がコミッショナーとして活躍できる。

上位成果指標	単位	R3 年度（実績）	R4 年度（予定）	R5 年度（見込）	R6 年度（見込）	R7 年度（見込）
コミ集会での報告	%	100	100	100	100	100

（2）事業費の推移・内訳

事業費の内訳（円）

R3 年度 （決算） 項目	事業費	R4 年度 （予算） 項目	事業費	R5 年度 （目標） 項目	事業費	R6 年度 （目標） 項目	事業費	R7 年度 （目標） 項目	事業費
茨城会場		茨城会場		研修参加料等	300,000	研修参加料等	300,000		
				消耗品費	(30,000)	消耗品費	(30,000)		
				会議費	(10,000)	会議費	(10,000)		
				雑費	(100,000)	雑費	(100,000)		
				賃借料	(80,000)	賃借料	(80,000)		
				手数料	(1,000)	手数料	(1,000)		
				旅費交通費	(94,000)	旅費交通費	(94,000)		
				燃料費	(10,000)	燃料費	(10,000)		
合計	0	合計	0	合計	(25,000)	合計	(25,000)	合計	0

（3）事務事業の環境変化、意見等

① この事務事業を開始したきっかけ	② この事務事業を取り巻く変化	③ この事務事業に関する意見や要望
日本連盟の指導者養成の方針により、関東ブロックの持ち回りで開始した。	従来のコミッショナー研修所やからベーシックコースに名称が変更となり、内容等にも大きな変化が行われている。	関東ブロック担当県連の２年間で、県内からの参加者を増強し、より多くの指導者にコミッショナーの役割と責務を知ってもらいたい。

2　事務事業の評価［Check］と今後の方向性［Action］

（1）今後の事業の方向性（複数選択可）　２～３年後を目処にした方向性

- ☐ 目的再設定
- ☐ 事業のやり方改善による成果向上
- ☐ 事業のやり方改善による事業費削減
- ☐ 事業統廃合・連携
- ☐ 費用負担の適正化

（2）改革・改善案　いつまでに、何を、どうするか

コミッショナーベーシックコースとしての役割認識と入所者の奨励を行い、地区におけるコミッショナーを育成していく必要がある。

（3）改革・改善による期待成果

		コスト（事業費） 削減	維持	増加
成果	向上			○
	維持			
	低下			

（4）改革・改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策

令和5年度と６年度の２年間は、関東ブロック担当県連として予算化していく必要がある。

基本目標	政策	施策	基本事業
開かれたスカウティングを展開しよう	一般向け事業の創造	スカウトスキルの充実	スキルトレーニング充実事業
			スカウトスキル出前講座推進事業
		野営場の活用促進	野営場管理事業
	ブランドイメージに向けた広報活動の充実	スカウトブランドの創成	スカウトブランド創成事業
		ホームページの充実	地区行事掲載事業
			広報誌「男体」充実事業
		マスコミとの連携	取材記事収集事業
		地域への露出度アップ	入団案内の設置事業
			入団案内の設置事業
	知名度向上に向けた行政・学校・地域との連携	市町行政等との連携強化	地区組織拡大事業
		市町行政等との連携強化	加盟員増強事業
			栃木県大会開催事業
			関係機関とのふれあい推進事業
		学校との連携強化	富士・隼・菊スカウト、海外派遣者の情報提供事業
		防災教育プログラムの開発	野外活動実践事例集発行事業
スカウティングを充実させよう	たくましいスカウトの育成	キャンプを通した団相互交流の促進	キャンプ場PR誌作成事業
		進歩制度の充実支援	地区プログラム推進事業
		国際交流活動の充実	海外派遣事業
		外国語技能の活用	国際交流協会連携交流事業
	スカウトプログラムの充実	地球的な視野を持つ市民の育成	環境プログラム推進事業
			環境プログラム推進事業
			環境プログラム推進事業
		ユース年代の活躍支援	県カブラリー開催事業
			県ベンチャースカウト大会開催事業
			県ベンチャーフォーラム開催事業
			ローバーズネットワーク事業
			特別委員会の充実事業
		技能章取得支援	技能章指導員バンク事業
			技能章取得支援講習会開催事業
	成人指導者の能力開発	指導者訓練の充実	定型外訓練の協働事業
			定型外訓練の協働事業
			定型外訓練の協働事業
			定型外訓練の協働事業
			定型訓練開催事業
			定型訓練開催事業
			定型訓練開催事業
			定型訓練充実事業
			定型訓練充実事業
			トレーニングチーム充実事業
			トレーニングチーム充実事業
			セーフ・フロム・ハームの推進
			団活動の活性化
		コミッショナーの活躍	コミッショナー育成事業
			コミッショナー育成事業
			コミッショナー育成事業
			コミッショナー育成事業
経営基盤を安定させよう	組織ガバナンスの構築	役職員の資質向上	運営委員会の充実事業
			運営委員会の充実事業
			運営委員会の充実事業
			運営委員会の充実事業
			運営委員会の充実事業
			公益法人セミナー派遣事業
			コミッショナーの充実事業
			特別委員会の充実事業
			特別委員会の充実事業
			特別委員会の充実事業
			特別委員会の充実事業
			特別委員会の充実事業
			特別委員会の充実事業
			特別委員会の充実事業
	会計基準に適合した会計処理	会計処理の正確な執行	法人会計充実事業
	収入の確保	収入の確保	寄附金充実事業
			登録料・維持会費増強事業

リーディングプロジェクトとの関連（重点事業）	担当部局	R05	R06	R07	個別事業との関連	施策No.	単年度No.	R05(2023)単年度事業	R05(2023)期待成果コスト・成果	R05(2023)区分
	指導者養成	→	→	→	公1①	1	11111	県定型外訓練①（スキルトレーニング）	維持維持	継
ブランドイメージ向上	指導者養成	→	→	→	公1②	1	11211	スカウトスキル出前講座	維持維持	継
	国際環境	→	→	→	公1④	1	11311	野営場の貸与及び管理	維持維持	継
ブランドイメージ向上	組織広報	→	→	→	公1③	1	12111	防災キャラバンによる広報	維持維持	継
	組織広報	→	→	→	公1③	1	12211	ホームページの運営	維持維持	継
	組織広報	→	→	→	公1③	1	12221	Facebook版　広報「なんたい」の発行	維持維持	継
	組織広報	→	→	→	公1③	1	12311	取材記事の収集保存	維持維持	継
	組織広報	→	→	→	公1③	1	12511	広報用パンフレット等作成	維持維持	継
ブランドイメージ向上	組織広報	○	○	→	公1③	2	12512	「スカウトの日」による広報	維持向上	充
	組織広報	→	→	→	公1③	1	13111	地区組織拡張支援	維持維持	継
公益事業創成	組織広報	→	→	→	公1③	1	13121	広報グッズの作成	維持維持	継
	組織広報	→	→	→	公1②	1	13131	ボーイスカウト栃木県大会（75周年記念式典）	維持向上	充
ブランドイメージ向上	組織広報	→	→	→	公1③	1	13141	県社会教育振興協議会等行政との連携	維持維持	継
ブランドイメージ向上	プログラム	→	→	→	公1②	1	13411	スカウト顕彰＆情報提供	維持維持	継
	指導者養成	→	→	→	公1③	1	13511	防災プログラム事例集の研究	維持維持	継
	国際環境	→	→	→	公1③	1	21111	キャンプ場PR誌作成	維持維持	継
	プログラム	→	→	→	公1②	1	21211	地区スカウト大会（ラリー等）開催支援	維持維持	継
	国際環境	→	→	→	公1①	1	21321	海外派遣の奨励	維持維持	継
	国際環境	→	→	→	公1③	1	21411	国際交流している他団体との連携	維持向上	充
	プログラム	→	→	→	公1②	1	22111	環境プログラム活動の推進	維持維持	継
	国際環境	→	→	→	公1②	2	22112	足尾の山に緑を（植樹）	維持維持	継
	国際環境	○	○	→	公1②	3	22113	野営場を活用したSDG’sの推進	維持向上	充
	プログラム	→	→	→	公1②	1	22211	スカウトフェスタ（県カブラリー）	維持維持	継
	プログラム	→	→	→	公1②	1	22221	県ベンチャースカウト大会	維持維持	継
	プログラム	→	→	→	公1②	1	22231	県スカウトフォーラム	維持維持	継
	プログラム	→	→	→	公1②	1	22251	ローバーズネットワーク推進	維持維持	継
ブランドイメージ向上	特別委員会	◎	×	×	公1②	1	22261	県連盟75周年記念スカウトフェスタ	増加向上	新
	プログラム	→	→	→	公1③	1	22311	技能章考査員・指導員の拡充	維持維持	継
	プログラム	→	→	→	公1②	1	22321	ボーイスカウト救急法講習会	維持維持	継
	組織広報	→	→	→	公1①	1	23111	団・隊指導者研修会	維持維持	継
	指導者養成	→	→	→	公1①	2	23112	県定型外訓練②（県）	維持維持	継
ブランドイメージ向上	指導者養成	→	→	→	公1①	3	23113	県定型外訓練③（自主サークル育成）	維持維持	継
	指導者養成	→	→	→	公1①	4	23114	地区定型外訓練開催支援	維持維持	継
	指導者養成	→	→	→	公1①	1	23121	ボーイスカウト講習会	削減向上	充
	指導者養成	→	→	→	公1①	2	23122	ウッドバッジ研修所	維持維持	継
	指導者養成	◎	○	×	公1①	3	23123	コミッショナーベーシックコース（関東ブロック）	増加向上	新
	指導者養成	→	→	→	公1①	1	23131	研修所への講師派遣	維持維持	継
	指導者養成	→	→	→	公1①	2	23132	実修所への講師派遣	維持維持	継
	指導者養成	→	→	→	公1①	1	23141	トレーニングチーム研究集会	維持向上	充
	指導者養成	→	→	→	公1①	2	23142	トレーナー研究集会派遣	削減維持	継
	コミG	→	→	→	公1①	1	23151	「セーフ・フロム・ハーム」セミナーの開催	維持維持	継
	コミG	→	×	→	公1①	1	23161	団アンケート結果分析による活動提案と支援	維持維持	継
	コミG	→	→	→	公1①	1	23311	コミッショナー研究集会	維持向上	充
	コミG	→	→	→	公1①	2	23312	スカウティング研究資料の作成	維持維持	継
	コミG	→	→	→	公1①	3	23313	コミッショナーベーシックコースへの参加奨励	増加向上	充
	コミG	◎	→	→	公1①	4	23314	ラウンドテーブルの活性化	増加向上	新
	組織広報	→	→	→	公1⑤	1	31111	組織広報委員会議	維持維持	継
	指導者養成	→	→	→	公1⑤	2	31112	指導者養成委員会議	維持維持	継
	プログラム	→	→	→	公1⑤	3	31113	プログラム委員会議	維持維持	継
	国際環境	→	→	→	公1⑤	4	31114	国際環境委員会議	維持維持	継
	財務財政	→	→	→	公1⑤	5	31115	財務財政委員会議	維持維持	継
	財務財政	→	→	→	公1⑥	1	31121	公益法人セミナーへの派遣	削減維持	継
	コミG	→	→	→	公1⑤	1	31131	県連盟コミッショナー会議	維持維持	継
	特別委員会	→	→	→	公1⑤	1	31141	規程検討特別委員会議	維持維持	継
	特別委員会	→	→	→	公1⑤	2	31142	中期経営計画特別委員会議	維持維持	継
	特別委員会	○	○	→	公1⑤	3	31143	中期経営計画タスクチーム会議	維持向上	充
ブランドイメージ向上	特別委員会	→	×	×	公1⑤	4	31144	県連盟75周年記念事業特別委員会議	増加向上	充
	特別委員会	→	→	→	公1⑤	5	31145	クラウド等を活用した文書管理推進特別委員会議	維持向上	充
	特別委員会	→	→	→	公1⑤	6	31146	災害復興支援特別委員会	維持維持	継
公益事業創成	特別委員会	○	→	→	公1③	7	31147	ワクワク自然体験あそび推進特別委員会	削減維持	継
	財務財政	→	→	→	公1⑥	1	32111	法人会計処理事務の充実	削減維持	継
収益構造改善	財務財政	→	→	→	公1⑥	1	33111	寄附金募集	維持維持	継
	財務財政	→	→	→	公1⑥	1	33121	収益構造の改善	維持維持	継

(1) 基本目標別事業数

基本目標	新規	充実	継続	合計
開かれたスカウティングを展開しよう		2	13	15
スカウティングを充実させよう	3	6	22	31
経営基盤を安定させよう		3	14	17
総計	3	11	49	63

基本目標１　　開かれたスカウティングを展開しよう

一般向け事業の創造	スカウトスキルの充実	指導者養成	県定型外訓練①（スキルトレーニング）	日本連盟の定める指導者養成訓練体系（隊指導者）の実技認定をより受けやすくするよう訓練を開催する。	維持維持
		指導者養成	スカウトスキル出前講座	公民館等の行政や学校からの要請に応じて、トレーニングチームや地区・加盟団との連携を密にしながら、スカウトスキルを活用した講座の講師派遣を行います。	維持維持
	野営場の活用促進	国際環境	野営場の貸与及び管理	栃木県連盟が保有する野営場（烏山C.C.C.）の保守管理並びに草刈り作業（年間6回）を実施します。	維持維持
ブランドイメージに向けた広報活動の充実	スカウトブランドの創成	組織広報	防災キャラバンによる広報	災害時にも活用できる簡単に誰でも作れるもの（新聞紙スリッパ・ゴミ袋カッパ・応急担架）をPRして、ボーイスカウトのイメージ向上に努めます。	維持維持
	ホームページの充実	組織広報	ホームページの運営	ホームページに県連盟の情報に加えて地区の情報を適時に提供し、広報活動の充実を行います。	維持維持
		組織広報	Facebook版　広報「なんたい」の発行	広報活動を推進するために、主にFaceBookを利用し、広報「なんたい（デジタル版）」に情報を掲載する。	維持維持
	マスコミとの連携	組織広報	取材記事の収集保存	県連盟記念誌作成のために、マスコミに取り上げられた県・地区・団の記事を収集・保存していきます。	維持維持
	地域への露出度アップ	組織広報	広報用パンフレット等作成	スカウト活動の認知度を向上させる為に、親しみやすい内容のパンフレットを作成していきます。	維持維持
		組織広報	「スカウトの日」による広報	全国一斉「スカウトの日」に取り組み、団単位での清掃活動等を展開し、地域社会へのスカウト活動のPRを行います。	維持向上
知名度向上に向けた行政・学校・地域との連携	市町行政等との連携強化	組織広報	地区組織拡張支援	地区が主催する組織拡張行事に対して1地区20,000円を限度に消耗品等の経費を支援し、組織拡張の情報共有を図っていきます。	維持維持
	市町行政等との連携強化	組織広報	広報グッズの作成	県カブラリー等の行事開催時の広報グッズや広報用カレンダー等を作成してスカウト活動のPRを高め、財政にも寄与してまいります。	維持維持
		組織広報	ボーイスカウト栃木県大会（75周年記念式典）	栃木県大会を開催して、事業や会計についての報告と方針及び各種表彰等の年次大会を開催します。	維持向上
		組織広報	県社会教育振興協議会等行政との連携	県社会教育振興協議会や他団体主催の研修会等への理事・役員・事務職員等への参加促進を行い、関係する旅費を支出します。	維持維持
	学校との連携強化	プログラム	スカウト顕彰＆情報提供	各種大会への派遣や富士章等に進級したスカウトを学校に発信するとともに、隼章・富士章を取得したスカウトを県大会において顕彰します。	維持維持
	防災教育プログラムの開発	指導者養成	防災プログラム事例集の研究	ボーイスカウトの中で行っているプログラムの中で、学校や育成会等の地域において活用できる一般向けの防災プログラム事例集を増やしていく。	維持維持

基本目標２　　スカウティングを充実させよう

たくましいスカウトの育成	キャンプを通した団相互交流の促進	キャンプ場PR誌作成	栃木県連盟野営場（烏山C.C.C）を利用促進するための分かりやすいパンフレットを作成します。	維持維持
	進歩制度の充実支援	地区スカウト大会（ラリー等）開催支援	地区毎に行われるスカウト大会（ラリー）等の開催支援として1地区10,000円を限度に消耗品等の経費を支援します。	維持維持
	国際交流活動の充実	海外派遣の奨励	日本連盟で行っている各種海外派遣（ワールドジャンボリーなど）の情報を発信し、参加促進を図ります。	維持維持
	外国語技能の活用	国際交流している他団体との連携	国際交流協会やJICA等のNGOとの連携を行い、国際交流に役立てるとともに、外国語会話バッジ取得を推進します。	維持向上
スカウトプログラムの充実	地球的な視野を持つ市民の育成	環境プログラム活動の推進	環境保護に対してスカウトが実践できる機会を確保し、世界スカウト機構が提供する earth tribe（アーストライブ）バッチ取得支援を行う。	維持維持
		足尾の山に緑を（植樹）	「足尾に緑を育てる会」の植樹に参加することにより、環境教育活動の具体的推進を図ります。	維持維持
		野営場を活用したSDG’sの推進	栃木県連盟野営場（烏山C.C.C）を活用した環境プログラムを開発し、スカウトプログラムに活用します。	維持向上
	ユース年代の活躍支援	スカウトフェスタ（県カブラリー）	例年実施しているカブラリーを今年度は創立75周年記念事業としてスカウトフェスタとして開催します。	維持維持
		県ベンチャースカウト大会	年1回、県内のベンチャースカウトが一堂に会し交流し、技能（進歩）の促進を図る。	維持維持
		県スカウトフォーラム	全国フォーラムスカウトのテーマを基に、各地区でフォーラムを開催し、結果を県に持ち帰り、県スカウトフォーラムで意見の集約を行います。	維持維持
		ローバーズネットワーク推進	ローバー年代が、県内において活動できる条件を整備し、白鷗大学ローバーとの連携を密にして、他団相互のネットワークを推進します。	維持維持
		県連盟75周年記念スカウトフェスタ	県連盟75周年記念事業特別委員会の小委員会として設立し、スカウトフェスタを通して、各団の交流を促進し、運動の活性化を図るとともに、一般県民の参加を促し、スカウト運動の理解と協力を深めます。	増加向上
	技能章取得支援	技能章考査員・指導員の拡充	スカウトが技能章を取得しやすい環境を整備するために、地域人材の活用を行い、考査員（県）や指導員（地区）拡充を行います。	維持維持
		ボーイスカウト救急法講習会	技能章「救急章」の取得支援を行うため、県連盟が主催する「ボーイスカウト救急章講習会」を開催します。	維持維持
成人指導者の能力開発	指導者訓練の充実	団・隊指導者研修会	団・隊指導者に対する研修会を開催し、指導者の資質向上を目指します。	維持維持
		県定型外訓練②（県）	コミッショナーからの要請に基づき、指導者に必要とする各種研修機会を県トレーニングチームとの協働により計画・実施します。	維持維持
		県定型外訓練③（自主サークル育成）	小人数を対象にした体験プログラムを考案し自主的にサークルが誕生できる環境作りを目指し、自主的に研修を企画するサークルに対し、1サークル10,000円を限度に活動支援を行う。	維持維持
		地区定型外訓練開催支援	地区で開催する定型外訓練に対し、10,000円を限度に活動支援を行い、活性化を行います。	維持維持
		ボーイスカウト講習会	日本連盟の定めるボーイスカウト講習会の実施要項に基づき、地区ごとに実施する。	削減向上
		ウッドバッジ研修所	日本連盟の指導者基礎訓練課程である全部門共通のスカウトコースを１回、課程別編を２回開設します。	維持維持
		コミッショナーベーシックコース（関東ブロック）	日本連盟の定める実施要項に基づき、本県連盟が当番県連となりコースを開設する。コミッショナーベーシックコースは、関東８県合同で、２年ずつ持ち回りで行う。	増加向上
		研修所への講師派遣	関東ブロックが開催する団委員研修所・コミッショナーベーシックコースに対し、本県連盟から講師を派遣します。	維持維持
		実修所への講師派遣	関東ブロックからの要請に応じて、他県連盟担当の隊指導者上級訓練課程と団委員上級訓練課程に講師を派遣します。	維持維持
		トレーニングチーム研究集会	トレーニングチームメンバーの研鑽及び資質の向上とメンバー同士の連携を図るために、県内及び北関東４県等で研究集会を開催する。	維持向上
		トレーナー研究集会派遣	日本連盟が開催するトレーナ研究集会に対して、トレーナの資質向上のために県連盟を代表して派遣する。	削減維持
		「セーフ・フロム・ハーム」セミナーの開催	インターネットを利用した学習形態のeラーニング研修より更に具体的に学んでいきたい方への支援として集合型セミナーを開催します。	維持維持
		団アンケート結果分析による活動提案と支援	コミッショナー部門の活動テーマとして隔年でアンケートを実施し活発な活動を提案し支援していきます。	維持維持
	コミッショナーの活躍	コミッショナー研究集会	全国コミッショナー会議を受けて、日本連盟の伝達内容の共有化を図り、コミッショナーとして研鑽しながら資質の向上を図る。	維持向上
		スカウティング研究資料の作成	コミッショナーとして日連などの教育部門の新情報や従来のスカウティング内容を研究し、情報共有化と全体的な向上を図ります。	維持維持
		コミッショナーベーシックコースへの参加奨励	コミッショナーの資質向上のため、日本連盟の定めるコミッショナー基礎訓練課程への研修を促します。	増加向上
		ラウンドテーブルの活性化	地区におけるRTを活性化させ各隊指導者の育成を図ります。	増加向上
		団アンケート結果分析による活動提案と支援	コミッショナー部門の活動テーマとして隔年でアンケートを実施し活発な活動を提案し支援していきます。	維持維持

基本目標３　　経営基盤を安定させよう

組織ガバナンスの構築	役職員の資質向上	組織広報委員会議	組織広報に関する委員会を定期開催します。	維持維持
		指導者養成委員会議	指導者養成に関する委員会を定期開催します。	維持維持
		プログラム委員会議	プログラムに関する委員会を定期開催します。	維持維持
		国際環境委員会議	国際環境に関わる委員会を定期的に開催します。	維持維持
		財務財政委員会議	財務財政に関する委員会を定期開催します。	維持維持
		公益法人セミナーへの派遣	公益法人協会が開催するセミナー(運営・会計処理等)への旅費を支出します。	削減維持
		県連盟コミッショナー会議	県連盟コミッショナーとしての情報の把握と地区コミッショナーへの指導助言ができるよう、各自の資質向上と問題解決能力を向上させます。	維持維持
		規程検討特別委員会議	運営規程第12条3に基づき、県連盟の規程の制定並びに改廃について理事会へ提出する原案を討議します。	維持維持
		中期経営計画特別委員会議	3年後を見通したローリング方式による事務事業マネジメントシートによる評価を行い、次年度の事業計画を検討します。	維持維持
		中期経営計画タスクチーム会議	次期中期経営計画策定に向けてタスクチームを作り、計画を作成します。	維持向上
		県連盟75周年記念事業特別委員会議	県連盟が昭和24年に創立し、2023年に75周年を迎えることから、記念誌作成及び記念式典開催のための準備を進めます。	増加向上
		クラウド等を活用した文書管理推進特別委員会議	公益法人の運営に係る適切な事務処理を図るため、クラウドを活用した文書決裁システムを運用するとともに、今後のDX推進に関する研究を進めます。	維持向上
		災害復興支援特別委員会	災害発生時に速やかに復興対策を検討する機関として特別委員会を組織します。	維持維持
		ワクワク自然体験あそび推進特別委員会	ボーイスカウト運動を広くPRし、多くの子どもたちにスカウト活動の魅力を伝え、一人でも多くの入隊につながるよう1団当たり5,000円を限度に体験入隊等支援事業を推進する。	削減維持
会計基準に適合した会計処理	会計処理の正確な執行	法人会計処理事務の充実	法人会計や文書決裁システムの検討を行い、公益法人にふさわしい事務執行を行います。	削減維持
収入の確保	収入の確保	寄附金募集	企業・団体・一般個人に対する寄附金募集実施体制の構築・整備を進めます。	維持維持
		収益構造の改善	安定した財源の確保を図るため、県連盟登録料の改定を検討します。	維持維持

(2)　担当部局別事業数

担当部局	新規	充実	継続	合計
組織広報		2	10	12
指導者養成	1	2	11	14
プログラム			10	10
国際環境		2	5	7
財務財政			5	5
コミG	1	2	4	7
特別委員会	1	3	4	8
総計	3	11	49	63

(3)　リーディングプロジェクト別事業数

リーディングプロジェクトとの関連	新規	充実	継続	合計
ブランドイメージ向上	1	2	6	9
公益事業創成			2	2
収益構造改善			1	1
総計	1	2	9	12

リーディングプロジェクトとは、基本構想の実現に向けて基本計画全体をリーディングする（先頭に立って導く）誘導的なプロジェクト事業のことです。優先的かつ重点的に関係主体が連携して取り組む必要がある課題を抽出し、これらの課題を解決するため各分野における施策を横断的に関連付けます。

重要課題であるだけに新規事業が多く、上記の推進体制で全理事が分担・関与していきます。

３ 個別事業の内容

(1) 公益目的事業

公1 ボーイスカウト運動を通じて、次世代を担う青少年の健全育成事業の計画

① ボーイスカウト運動の指導者養成に関する研修、講習会開催

No.	担当部局	R05(2023)単年度事業	区分	対象	内容等
1	組織広報	団・隊指導者研修会	継	団指導者（団委員長、団委員） 隊指導者（隊長、副長等）	年１回、１泊２日
2	指導者養成	県定型外訓練①（スキルトレーニング）	継	18歳以上の加盟員	年間２回、日帰り
3	指導者養成	県定型外訓練②（県）	継	18歳以上の加盟員	年間２～３回
4	指導者養成	県定型外訓練③（自主サークル育成）	継	18歳以上の加盟員	5,000円以内×２サークル
5	指導者養成	地区定型外訓練開催支援	継	18歳以上の加盟員	10,000円以内×４地区
6	指導者養成	ボーイスカウト講習会	充	18歳以上の県民	年間４回
7	指導者養成	ウッドバッジ研修所	継	19歳以上の加盟員でボーイスカウト講習会修了者	年間１回、３泊４日 年間２回、日帰り
8	指導者養成	コミッショナーベーシックコース（関東ブロック）	新	指導者	年間１回
9	指導者養成	研修所への講師派遣	継	トレーニングチーム員	団研、コミ研
10	指導者養成	実修所への講師派遣	継	リーダートレーナー 副リーダートレーナー	年間１回
11	指導者養成	トレーニングチーム研究集会	充	トレーニングチーム員	年間２回
12	指導者養成	トレーナー研究集会派遣	継	リーダートレーナー 副リーダートレーナー	年間１回
13	国際環境	海外派遣の奨励	継	スカウト、指導者	年間随時
14	コミG	団アンケート結果分析による活動提案と支援	継	コミッショナー、指導者	年間随時
15	コミG	「セーフ・フロム・ハーム」セミナーの開催	継	指導者	年間１回
16	コミG	コミッショナー研究集会	充	コミグループ （地区、県連盟全員）	伝達事項、事例研究
17	コミG	スカウティング研究資料の作成	継	トレーニングチームプロジェクトチーム	冊子の作成
18	コミG	コミッショナーベーシックコースへの参加奨励	充	指導者	年間随時
19	コミG	ラウンドテーブルの活性化	新	指導者	年間随時

② スカウトに教育効果のある大会の開催及び派遣事業

No.	担当部局	R05(2023)単年度事業	区分	対象	内容等
1	組織広報	ボーイスカウト栃木県大会（75周年記念式典）	充	スカウト、指導者、保護者、県民	年間１回
2	指導者養成	スカウトスキル出前講座	継	公民館等の行政機関等、県民	年間２回
3	プログラム	スカウト顕彰＆情報提供	継	スカウト、学校	年間随時
4	プログラム	地区スカウト大会（ラリー等）開催支援	継	スカウト、指導者、保護者、県民	10,000円×４地区
5	プログラム	環境プログラム活動の推進	継	スカウト、指導者、県民	年間随時
6	プログラム	スカウトフェスタ（県カブラリー）	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間1回
7	プログラム	県ベンチャースカウト大会	継	ベンチャースカウト、指導者	年間1回
8	プログラム	県スカウトフォーラム	継	ベンチャースカウト	年間1回
9	プログラム	ローバーズネットワーク推進	継	ローバースカウト	年間随時
10	プログラム	ボーイスカウト救急法講習会	継	スカウト、指導者	年間1回
11	国際環境	野営場を活用したSDG’ｓの推進	充	スカウト、指導者	年間随時
12	国際環境	足尾の山に緑を（植樹）	継	スカウト、指導者、保護者	年間1回
13	特別委員会	県連盟７５周年記念スカウトフェスタ	新	スカウト、指導者、保護者、県民	年間1回

③　ボーイスカウト運動の普及及び広報事業

ア　広報活動の展開

No.	担当部局	R05(2023)単年度事業	区分	対象	内容等
1	組織広報	防災キャラバンによる広報	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
2	組織広報	ホームページの運営	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
3	組織広報	Facebook版　広報「なんたい」の発行	継	県民	年間随時、ホームページ版
4	組織広報	取材記事の収集保存	継	新聞社、テレビ局等のマスコミ	年間随時
5	組織広報	広報用パンフレット等作成	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
6	組織広報	「スカウトの日」による広報	充	スカウト、指導者、保護者、県民	年間１回
7	組織広報	広報グッズの作成	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
8	組織広報	県社会教育振興協議会等行政との連携	継	指導者	年間随時
9	プログラム	技能章考査員・指導員の拡充	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
10	国際環境	キャンプ場PR誌作成	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時
11	国際環境	国際交流している他団体との連携	充	スカウト、指導者	年間随時

イ　野外ゲーム等ボーイスカウト運動の体験の場の提供

No.	担当部局	R05(2023)単年度事業	区分	対象	内容等
1	組織広報	地区組織拡張支援	継	スカウト、指導者	年間１回
2	指導者養成	防災プログラム事例集の研究	継	指導者	年間随時
3	特別委員会	ワクワク自然体験あそび推進特別委員会	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時

④　キャンプ場の貸与及び管理

ア　栃木県連盟野営場C.C.C（CAMP　CAT　CROW）の貸与及び管理

No.	担当部局	R05(2023)単年度事業	区分	対象	内容等
1	国際環境	野営場の貸与及び管理	継	スカウト、指導者、保護者、県民	年間随時

ボーイスカウト運動の特色の一つである「野外活動」を展開する場所を確保するために、本連盟が保有するキャンプ場を本連盟の団や隊、青少年の健全育成に携わる団体に青少年の健全育成の目的に限り有料にて貸与する。

○　対象者　：　本連盟の団・隊及び青少年の健全育成に携わる団体

○　使用料

(1)　宿泊料　　１人１泊　　会員　500円、非会員　1,000円

(2)　入場料　　１人昼間（10:00～16:00）　　会員　100円、非会員　200円

○　周知方法：　ホームページ、広報誌、チラシ（500部程度作成、各団、近隣地域などに配布）

公益法人を運営する上で必要な会議

ア　公益法人を運営するため、以下の各種会議を開催する。

・　評議員会、理事会、三役会議、運営委員長連絡会議、各種運営委員会議、県連盟コミッショナー会議、特別委員会(中期経営計画、規程検討、県連盟 75 周年記念誌作成、クラウド等を活用した文書等管理推進等)

公益法人を経営する上で必要な財務財政に関する事業

No.	担当部局	R05(2023)単年度事業	区分	対象	内容等
1	財務財政	公益法人セミナーへの派遣	継	県連盟役員	年間随時
2	財務財政	法人会計処理事務の充実	継	県連盟役員	年間随時
3	財務財政	寄附金募集	継	加盟員及び関係者、一般	年間随時
4	財務財政	収益構造の改善	継	県連盟役員	年間随時

(2)　収益事業

<u>収1　ボーイスカウト運動に必要な用品の取りまとめ及び発注事務などの計画</u>

①　ボーイスカウト運動に必要な用品の取りまとめ及び発注事務などに関する手数料収益

ア　県内各団からボーイスカウト運動に必要なスカウト用品（制服・記章・本・テント他）の必要数を取りまとめ、一般財団法人ボーイスカウトエンタープライズに発注する事務を、本連盟事務局が一括して行う。

イ　年間の用品等総売上金に対して、20%程度の金額がボーイスカウトエンタープライズから、本連盟へ手数料として入金される。

ウ　ボーイスカウト運動に必要なスカウト用品（制服・記章・本・テント他）は、BS カード（オリエントコーポレーションカード）を利用しても個人が購入することができる。BS カードの売上高の 0.5%が本連盟に手数料として入金される。

エ　啓発グッズ等の販売益もここに計上する。